

## 試乗会の成果を 角田市長に報告

県航空協会など

県航空協会と角田市商工会青年部のメンバーが二十五日、佐藤清吉角田市長を表敬訪問し、五月に角田市の阿武隈川河川敷で開いた「グライダー試乗会」の成果を報告、行政側の今後の支援を要請した。

グライダー試乗会は市商工会青年部が県航空協会の協力を得て企画。小中学生など二百人近い市民が乗った。青年部の佐藤忠義部長は「グライダーの安全性と素晴らしさを体験できたと思う」と成果を強調した。

角田市の阿武隈川河川敷を「東北航空公園」として整備する構想を打ち出している県航空協会の大友宏之専務理事は「大学の航空部の合宿所にもなるし、地域の活性化にもつながる」と話し、構想への理解を求めた。

申し出に対し、佐藤市長は「阿武隈川をどう活用するかが角田の課題。グライダー構想は良い案だと思っている」と述べ、本年度一般会計補正予算に調査費を計上する方向で検討することを明らかにした。